

# 中華民國・台湾の二十年

対日断交のかけの驚くべき急成長の秘密は？

辜

振甫

(中華民國工商協進會理事長)

郭婉容

(中華民國政務委員・經濟建設委員會主任委員)

中嶋嶺雄

(東京外國語大學教授・カリフォルニア大學サンディエゴ校大学院客員教授)



中嶋 日本では「日中国交樹立二十年」ということで、史上初の天皇訪中も実現しましたが、「日中国交二十年」は同時に「日華国交断絶二十年」でもあるわけです。

この二十年間、中華民國・台湾はさまざまな辛酸を舐めてこられたことと思います。辜振甫先生は、中台交流の責任者(海峡交流基金會理事長)ですから、これから大陸との兩岸關係がどうなっていくのか、私は中国によって台湾が解放されるのではなく、台湾が中国を変えるという方向で考えていますが、中国統一の問題をどう考えておられるのかについてもお話しただけだと思います。もし差し支えなければ天皇訪中のご感想などから……。

辜 実は私が小学校一年のときに昭和天皇が摂政の宮でみえられたんですよ。そのときに私は御前授業に出たんですね。もう七十年前にも前になりますが、昭和天皇にはその後も二度ほどお目に掛かっております。そんなことから、日本の皇室には親しみを感じますが、蒋介石總統のあの史上未曾有の対日戦後処理、不幸な国交断絶、そしてこの度の御訪中を考え合わせて、台湾に居る人びとがどういう心持で御訪問を眺めていたか、お察し願いたいと思います。

中嶋 郭婉容先生は世代的には辜振甫先生よりお若いわけですが、いかがでしょう。

郭 辜振甫先生に全く同感です。

中嶋 この度の天皇陛下の「お言葉」の中に、「中華人民共和国」という文言は一つもないんですね。「我が国が中国国民に対し多大の苦難を与えた」という表現には、中華民国・台湾の人びとへの陛下の気持も含まれていると私は確信しています。いずれにせよ、中華民國・台湾は、いまや全世界が注目する発展ぶりですが、ここまで来るのはさぞかし大変だったと思います。

■日本との分け隔てることのできない絆

辜 何にもない、あの瓦礫の中から立ち上がるということとは並大抵ではありません。しかも一方においては、中国大陸からの軍事侵攻という脅威があったわけです。

その中において、一番特筆すべき点は、土地改革をやったことだと思えます。耕している土地は全部自分のものという社会をつくったわけです。それによって、土地の上に長い間凍結されていた資金が生産方面に向けられた。初期の経済開発の資金は、それによって賄うことができたわけです。

もう一つは、やはり民主主義の道を選択した、自由経済の道歩んだということだと思います。権利、義務、それに関する規範を設けて、自由競争の法律的な基礎をつくったということですね。

その次にやったことは教育ですね。アジアではお国と台湾以外に、九九年の義務教育を実施している国はありません。

われわれには天然資源がないから、ヒューマン・リソースの質を上げることによって、新しい価値をつくっていくことでした。幸いにしてわれわれは非常に安定した政治的な局面を維持しました。これは蔣介石、蔣経国両氏が、ほんとに私心のない政治家だったから出来たと思うんですね。

それ以外に特筆すべきことが二つあるんですよ。一つは、あの頃中国におった学識経験豊かな連中が多勢台湾に来たんです。で、台湾の本省人は非常に勤勉なんです。それが一緒に加えて、二つの要因が非常に大きく働いていまし

て、一つは、アメリカの経済援助です。世界中でわれわれほどアメリカの経済援助を有効に使った国はないと思う。もう一つ非常に重要なことは、日本の台湾統治時代に、不満足ながらインフラストラクチャーを残しており、国勢調査の資料もあった。行政、地勢、戸籍、そういうものがあったということとは、われわれの経済発展に大きく寄与していると思うんですね。そういうことを考えますと、われわれは日本と分け隔てることのできない絆で繋がっているような気がするんですね。

われわれは、先進国家が何百年という時間をかけて蓄積した知識とか技術とかを非常に短い間に、たいした代価も払わずに自分のものにするのができたんですね。

それならばほかの国はどうしてそれができなかったのか。それはやはり文化の問題だと思えますね。われわれの文化は社会の現代化に非常に適応したものでありますね。われわれの

文化とお国の文化は非常に根の深いところで繋がっている。

お国との関係はいま経済面が非常に先行しているけど、本当は文化の面からもう一ぺん見直すべきではないか。それによつてアジアの将来に対する共通の認識が得られれば、こんなに素晴らしいことはない。

中嶋 郭婉容先生は神戸大学の経済学博士の第一号なんですね。先生の『ザ・タイワン・エコノミー・イン・トランジション（過渡期の台湾経済）』という本は、発展途上国がいかに近代化するかに関しての必読書になっています。

辜 郭婉容先生は今後の経済発展を考えて経済六カ年計画を立案された方です。

## ■基盤としての儒教文化

中嶋 そのへんのことをお話しいただけますか。

郭 六カ年経済計画の期間は、一九九一年から一九九六年、二つの総合目標と四つの政策目標を挙げています。総合目標は、経済及び社会秩序の再整備、そして全面的な経済発展をはかる事。四つの政策目標は、国民所得の増加、インフラの整備、均衡発展の達成、そして生活環境の改善です。

経済成長率は年平均で、実質年率七パーセントの伸び、物価上昇率は、三・五パーセントを計画しております。このスピードでいきましたら、一人当たりGNPが目前の一万ドルから一九九六年に一万四千ドルになります。

過去の製造業の高度成長で、インフラの整備が、重大な課題になりました。土地の有効利用、電力の増加、水の供給、高速道路と高速鉄道の建設、飛行場キャパシティの拡大等が計画されています。何しろ車が二十年前の十一万台から、実に目前の三百三十万台に増加していますので、交通問題の解決にかなり力をいれているわけです。

皆さん生活が裕福になった後は、益々好い生活環境を望みますので、汚染の防止、空気・水の改善、ゴミの処理、学校・病院の増加、住宅の建設、リクリエーションのアレンジ等、生活改善にもかなり重きをおいています。

一度こういう全面的な目標に合わせて、個別的なプロジェクトをすすめている次第です。

台湾経済は四十年来、九パーセント近い高度成長でしたが、その根本原因として、やはり政治的、社会的な安定が大きかったですね。土地改革の成功もそれにより貢献したわけです。経済政策としては、加工貿易を選びました。そして一九六〇年代にその効果がもう出て来ました。終戦直後の農地従業者は五六パーセントもおりましたが、それが非常に速い速度で減ったんです。

中嶋 産業構造の急速な転換がはかられたということですね。

郭 産業構造の転換は、日本が世界一でしたが、それを上回って、もっと速くなったんです。それには二つの根本原因がありました。一つは農業の生産性が高かった。これは日本の統

治下ですでに高かったんですね。もう一つの大きな要因は農村からの流出人口を吸収する工業基盤があったんですね。

日本から中間品、部品を輸入、加工して輸出する。すると、その加工するのに人がいるわけですね。その人たちは勤勉で頭は非常にいい。儒教文化が背後にありますしね。

中嶋 儒教的倫理ですね。

郭 ええ。そういう背景がありますので、非常に使いやすいわけです。好い教育を受けていて二週間か三週間トレーニングしたら、すぐ仕事ができただけです。

そしてもう一つは、国際市場が大きかったんですね。とにかくつくれば売れたんです。

中嶋 世界中が戦後の復興の時期だったですね。

郭 それと非常にいい金融政策でインフレーションを抑えたんです。終戦当時台湾は悪性インフレーションに見舞われましたが、慎重な高金利政策によって、ついに一九六二年ま

でに三パーセント以下になりました。その間の金利政策は、まるでアスピリンを投与しているみたいでしたね。熱を見ながら、貨幣が出ていきますと、ちょっと利率を上げて、貨幣が返ってくる、また利率を上げて……それをくりかえして、物価の安定をはかったわけですね。

中嶋 金利政策がしっかりしていたんですね。

郭 それは経済史に残るほどです。これは一九五〇年代のことでしたが、そのあとインフレはずっと三パーセントぐらいです。二回のオイル・ショックのときもかなりいい金利政策をやりました。

台湾大学で教えていた私を、蔣経国行政院長が経済建設委員会の次官として入れたわけです。ほとんど毎月のように内閣へ呼ばれていろいろ聞かれました。

インフラにも力を入れました。終戦のときは電灯の普及率が三三パーセントでしたが、二十年ぐらいで九九・七パーセ

## 日本画と螺鈿がつくる静かな空間

— その華麗なインテリア —

人にときめきを、心にぬくもりを。

### 雅叙園観光ホテル

東京都目黒区下目黒1-8-1  
TEL (03)3491-0111

### 三島雅叙園ホテル

静岡県三島市南町2-37  
TEL (0559)71-1441  
新幹線 三島駅下車 バス5分

仏領ニューカレドニア

エスカパード・リゾートホテル  
RELAIS DE L'ESCAPADE

ILOT MAITRE  
Boite Postale 4916-NOUMEA  
NEW CALEDONIA  
TEL/FAX (887)28.53.20

- ホワイトパーク TEL (0144)36-2923  
サンシャイン
- 千歳平安閣 TEL (0123)26-1163
- 恵庭平安閣 TEL (0123)32-4175

# ソフト・リゾート・リゾート・ハード 建物内装

## 企業 団体 保養所のリニューアル

社員・職員のライフスタイルにマッチした現代のリゾート施設に変身

社員・職員の福祉の向上のために、保養所のクオリティアップが求められる時代。ソフト面では、サビレや食事内容、ハード面では建物や内装の美観、衛生、機能性等のアップが必要とされます。当社では、長年の各種レジャー事業やリゾートホテル経営等の経験にもとづいて、企業団体の保養所の活性化をお手伝い。運営管理の受託サービス(M&M Service)から建物の改装・改装(O&O Service)まで、独自のノウハウを駆使して保養所を魅力的なリゾート施設へリニューアルします。

- 運営管理の依託
- 改装・改善工事

観光・レジャー事業ひとすじ30年



信州総合開発観光株式会社  
リゾート開発事業部

東京 ● 東京都中央区銀座3-8-12  
☎03-3563-1831 〒104

大阪 ● 大阪市中央区北浜2-6-26  
☎06-222-1052 〒541

本社 ● 長野県茅野市北山3413  
☎0266-68-2220 〒391-03

ントにしました。市場経済の原理だけでは電灯は山の上のまばらな家には引かれませんが、政府の力で電力会社に強いて辺鄙な場所まで引かせたんですね。蔣経国行政院長は、電灯と水道のあるなしは国民の幸福に関係が深いと非常に強調していました。

もう一つは教育です。私たちの憲法では教育費が規制されているんです。中央政府は一五パーセント以上支出しなくてはならないんです。

### ■台湾、韓国、香港、シンガポール……

中嶋 教育投資ですね。

郭 それが地方政府レベルですと、三五パーセントの支出が義務づけられています。

もう一つの特徴として言えますのは、所得の分配がかなり公平です。それは一九七四年に世界銀行の副総裁が、六十六

の国を比較しまして、日本も入っていました。台湾の分配が一番公平でした。

それに、お国もそうでしょうが、試験の制度ですね。台湾では大学に入るのに、試験にさえ受ければいい。第一、学費が安いんです。今でも年に一千ドルそこそこじゃないでしょうか。そうすると受かりさえすれば、アルバイトでも結構生活できるし、お友だちとコーヒーやら映画やら(笑)……非常にいい生活を送っています。

中嶋 台湾が最近非常に発展しているということは、日本でもよく知られているんですけども、その原点はどこにあったかというところは、意外に知られてないんですね。

土地改革については、大陸と比較すると、明白な特徴があります。大陸の場合は、土地改革によって、土地はかなり均分されましたけど、今度はそれを共有にしちゃって、人民公社で大失敗をしたんですね。現在台湾では孫文の三民主義を「自由・民主・均富」つまり「現代の三民主義」といって



ますけれども、ひと頃は「平均地権」という考え方でやってきましたね。孫文の、「耕す者には土地を」というスローガンをその通り実行したわけです。

そして土地改革を行ったあと、旧地主の人がそんなに不満を持ってない。旧地主の人たちはそれなりに知性の高い人が多いわけで、その人たちがそのまま台湾社会の重要な担い手にもなっている。ここは大陸と全く違うところですね。大陸では地主は全部打倒され、殺害されたりしましたからね。

李登輝総統の息子さんに李憲文という人がいます、お気の毒なことに、四十代で若くして亡くなっちゃったんですけど、その李憲文さんの論文集を李登輝さんが編集していますね。結論は、台湾では土地改革をやったときに、それに賛成した地主が四六パーセントで、残りは中間的立場で反対した人も若干いるけれども、結果的に見ると、台湾では土地改革をやって、地主の人もよかったという満足感がその後出てき

たと。これは土地改革が非常にうまくいったことの証明だと思っんです。

それからもう一つ、これはわれわれからは申し上げにくいことですが、日本の植民地統治を正当化することはできませんけれども、後藤新平以来と言っているんでしょうかね、一種の啓蒙政策による植民地経営をやった。この点は、イギリスやフランスがアフリカなんかでやったことと全く違う。また、台湾の人たちの民度が高かったともいえますしね。

さっきおっしゃったような基本的なインフラとか、教育とか、それから国勢調査とか戸籍とか、そういうものが日本統治時代にすでに整備されていたという問題も大変重要で、もう一つの点は、戦後のアメリカの冷戦政策を、台湾がかなりうまくそれをハンドリングして工業化に成功したという一面もあります。その結果韓国と比べても、一人当たりGNPは台湾のほうが倍近くありますからね。NIEESというよ

ホテルは都市の贅沢です。



●シングル 8,800円～  
●ツイン 17,000円～  
新幹線コンコースより直結。  
部屋数440、中四国一のホテルです。

JRホテルグループ  
東京予約センター (03) 3216-0489  
阪急ホテルチェーン  
東京営業所 (03) 3501-2445  
フレンドシップホテルグループ  
東京総合案内所 (03) 3215-5061



広島ターミナルホテル  
〒732 広島市南区松原町1番5号  
TEL 082-262-1111

く、韓国、台湾と来るので、私は必ず、台湾、韓国、香港、シンガポールと書くことにしています。

辜 土地改革に伴う変化については、私が一番関係が深いんです。私自身がいわば地主ですから。

自分で言うのも変ですが、私は三大地主の一人でした。板橋の林家、台中霧峯の林家とともに。簡単に申し上げますと、地主を説得するに際してまず共產主義に立ち向かうためには、地主と農民の生産関係をつくり直さなければいけない、この際われわれが必要とするのは健全な強い中産階級であつて、われわれは大企業を育てるよりも、いわゆる中産階級を大きくするというのが政策です——とね。

それから民生主義の考えですね。人民の生計をよくするという考え方を貫こうではないかということで、非常に和氣あいあいのうちにやっつたんですよ。ですから、農民は自分の收穫の四分の一を払えば、十年の後にその土地が自分のものになったんです。三十いくつで私はそれをやらされました。

郭 一九五三年です。

辜 そうです。あのとときの行政院長は陳誠さんでした。

中嶋 今度の「アジア・オーブン・フォーラム」京都会議でも、民営化の問題を加藤寛・慶大教授が報告して、その分科会は非常にエキサイティングでしたけれども、これから台湾は、電力とか鉄道とか、その部分の民営化の課題が出てくるんでしょいか。

郭 二十ばかり、民営化の計画の中に入れております。そ

のためにはまず行政的な面でいろいろアレンジしなければいけないので、まず公營事業を民間企業に移転する条例を通し、付随する細則も出来ました。これで一応行政的に整備されたわけですよ。

中嶋 躍進途上にあつた中華民國・台湾と断交して以来二十年間ですけれども、この二十年を見ると、大陸との大きな格差が目立ちますね。最近、大陸も改革・開放で、たしかに沿岸地方の経済は活性化していますけれど、台湾とは比較にならない。一番最近の数字で台湾は、一人当たりGNPが一萬五百ドルを越えましたからね。大陸はまだ三百五十ドル前後です。約三十倍近い格差ができたですね。ところが二十年前、これはむしろ郭婉容先生のご専門ですけど、日華断交の頃はそんなに格差はなかったですね。その頃は大陸のほうが二百ドル前後だったと思います。この二十年間に台湾はまたものすごく成長したんですね。

しかも、単に日本との外交関係断絶だけじゃなくて、国際社会の中から排除されるような不幸な結果になったにもかかわらず、民間の国際関係のチャネルを全面的に利用して、最も立派な国づくりをされた。

蔣経国総統の最晩年のあたりから戒嚴令も解除されたり、去る十一月上旬には金門・馬祖地域も解除されましたから、戒嚴体制は一切なくなりました。昨年には、中国敵国条項も廃止された。李登輝体制になってからは政治改革も著しく民主化も大いに進展した。それなのに日華関係は相変わらずで、

今回、第四回「アジア・オープン・フォーラム」京都会議を機によりやく加藤紘一官房長官(当時)と皆さんとの会談が実現することになりましたが、二十年來そうした政府レベルの接触はなかったのです。辜振甫先生、この二十年間を振り返りながら、いかがでしょうか。日本に対する注文もいろいろあろうかと思えますので、この際ぶちまけて(笑)。

### ■対日貿易のアンバランスが問題

辜 昔、日華協力委員会というのがありました。政治、経済、文化の三分科会を設けて全面的に交流を行い、私は幹事長をしておりました。断交後、経済分科会が東亜経済人会議ということになりました。私も引き続き委員長をやっております。もう三十年になります。まことに感慨深いものがありますね。日本側の委員会は、岸先生などが中心でした。

けれども、断交にもかかわらず、今、経済面では非常に密接になりました。九二年十月末日でお国との貿易のアンバランスは百四億九千万ドルになりました。これは新記録であり、おそらく年間百二十億ドルを越すのではないかと思えます。これは大きな数字で、経済問題も、ご承知のように、こうなりますと、ある程度の社会問題にもなるし、ひいては政治的な面でもいろいろ問題が出てくると思えます。しかし、われわれの産業構造が改善されなければ、日本との完全な水平分業ができない。そうすると今のアンバランス

の是正はなかなか短期間ではできません。ですから、やはりお国の市場の開拓を図りたい。

われわれの努力も足りなかったと思うんですが、今度はビジネス評議会というものをつくりまして、日本商工会議所、それからJETROが全面的にコミットして、それをやろうというわけです。商工会議所同士の交流も大切です。私どものところは中小企業が多いですから……。

中嶋 そうですね。そこが韓国との大きな違いで、台湾の経済の根本を強く支えていますね。

辜 ですから、中小企業同士が付き合ひ直すということが一つと、それから日本側はもつと、こういうものをこうい

## イスラエル スピルリナ

一粒2円66銭で……

あなたに健康を//

●世界最高品質イスラエル産スピルリナを、一粒2円66銭の破格のお値段でおとげします。

★スピルリナは、クロレラと同じ古代藻ですが、より消化吸収にすぐれ、βカロチンを約50倍含有しています。

●まとめるとお安くなります。

<p><b>お求めは 今が チャンス!!</b></p> <p>(300g・1500粒) 安価12,000円/個を 2個×6,800円 3個×5,800円 6個×4,000円</p>	<p>★小ビン新登場!! (120g・600粒) 定価6,000円/個を 3個×3,000円 10個×1,800円</p>
---	---

★スピルリナ100%  
(長期保存可)



（メーカー直販!!）

**電話かハガキでお申し込み下さい**

●お支払いは商品到着時に代金引換えをお願いします。●商品到着後7日以内は返品可。但し、開封後の返品はご容赦下さい。返品送料はご負担下さい。●定価に消費税3%を加算させていただきます。

(資料ご購入の方サンプル30粒進呈)

製造発売元: スピルリナ・イスラエルCO., LTD.  
〒153東京都目黒区下目黒1-5-19 ☎03(3490)1650

ふうにつくれば日本で売れるんだという、親切な心で教えていただく。例えばグラスでも、こういうグラスは日本では売れないけど、こういうふうに形を変えれば売れるんだということ、もう少し親切に教えていただくということ。これは日本側に対する要求ですが、もちろんそれだけでは問題が解決しません。

一番大事なことは、日本の技術を台湾に移転するということとあります。そういうことがうまくいかなければ、アンバランスの問題の解消は不可能であります。しかし、技術移転の問題になりますと、なかなか難しい。われわれの業者に言わせると、どうも日本の業者は移転を渋るところがあると。あるいは大事なところをちょっと隠すところがあると。少し渋いというふうに言います。

私、みんなに言うんですけれども、それは違うと。そういうこともあるけれども、アメリカさんはノウハウを売っちゃまえば、あとは知らん顔、非常にあっさりしてるといふ感じを受けますが、お国はそうじゃなくて、プロセスに非常に関心を持たれる。人を使う場合にも、アメリカでは、この人は今どれだけの役に立つかということを考える。しかし、お国でも、われわれもそうですけれども、将来どれだけの役に立つかを考える。ですから、違うんだと。

韓国を批判するわけではないですけれども、韓国は日本と競争して、まず日本を追い越すことを考える。われわれは違う。ほんとうのパートナーになろうとしているんです。です

から、そこを知っていただきたいんですね。

中嶋 そうですね。韓国の人はいつとも手を挙げて「克日」「反日」ということばかり言う。

### ■「孤掌難鳴」という言葉

辜 私どもはほんとうに日本のパートナーになろうとする。日本はパートナーを必要としている。「孤掌難鳴」という言葉があるように一つの掌では音が出ないですよ。二つ重ならないと音が出ない。それと同じことです。

私どもの業者に言うんですよ。人が一生懸命時間をかけて、金をかけて開発したものを、値切ってはいけない、と。うちはともかく値切る。それはダメなんです。ですから、やはりお国のほうももう少しおらかな気持で技術を移転し、われわれのほうも支払うべき金は出すと。中小企業が多いですから、研究開発能力はどうしても落ちるんです、正直な話。ですから、日本が今持っておられるノウハウをすっかりわれわれに移転しても、そのうちにわれわれが追いついても、日本はさらに先に行っているわけです。ですから、やはりパートナーが必要だという考えを持って、一緒にやっていたと。今、アジア・太平洋地域を見ましても、ほかの国に対して経済的に、援助を提供することができるのは日本と台湾しかないんです。

中嶋 そうですね。

幸 だから、われわれと一緒にやるということは、この地域の経済発展に繋がるし、みごとに競争原理にもかなう。

私が一番言いたいのは、われわれは政府間でなくても、相談し合う場が必要なんです。それは、お国の交流協会と、私どものほうの亜東関係協会でした。

それが一年に一度、経済貿易会議をやるんですが、お国のほうで出てくるのは課長クラス。私どもから出ていくのは局長、あるいは次官が出る。経済的なアンバランスよりも、政治的なアンバランスを考えてもらいたいです。ほんとに出てきてもらいたい人は局長クラスです。私どもとアメリカがやるときは、向こうから閣僚が出てくるんですね。

中嶋 それなのに台湾との貿易で大いに稼いでいる日本からは課長以下か、交流協会へ出向のかたちの課長クラス。このアンバランスは非常に重要な問題だと思えますね。

幸 私は先日、渡部通産大臣(当時)に言っておいたんです。

大学時代に力をつけなければ、  
いつ力をつける時期があるのだろうか。  
大学は社会へのスタートであって、  
ゴールではない。  
これからが勝負、ここからが肝心だ。

今度ぜひ来てくれませんか、そして何かひと言ふた言言ってくればありがたいと言ったんです。とりあえず正式に通産大臣室でお目にかかりましょう、ということでした。今までは大臣室で会ってこれないことが多かった。今までわれわれが一番辛く当たっていたのはカナダです。カナダも、最近はいルソンが来しました。オーストラリアはもっと渋いんですが、最近では観光大臣と資源大臣を送りましてね。これも一つの始まりですよ。

中嶋 実際、それはものすごい非対称なんです。一番典型的に表れているのは、前亜東関係協会東京事務所、現在、台北駐日経済文化代表処、このオフィスと、台北の交流協会のオフィスを比べると、月とスツポンです。台湾側は日本との関係を大事にしていますから、非常に立派です。

つまり日本は、中華民國・台湾と実利では、非常に儲かっているんです。日台貿易は昨年、台湾側の赤字が七十九億ドル

経営学部		法学部	
入試区分	出願期間	試験日	試験会場
学業特待	1月11日(月) - 2月1日(日)	経営学部 2月7日(日) 午後1時 -	小山 東京 長野 青森 新潟 富山 岐阜 大垣 岐阜 水戸
	2月1日(月) (前印有効) (空席) 2月2日(火)	法学部 2月7日(日) 午後1時20分 -	

★経営学部・法学部の併願も出来ます。  
★学業特待合格者は学費が2年間国立大学と同額。  
合格した権利は3月23日(木)まで保証。  
★入試要項は下記までご請求下さい。  
送料とも1,000円・電話・FAXでも受け付けています。

**白鷗大学**  
白鷗大学入試係 ☎0285(22)1111(株)  
FAX ☎0285(22)8989  
フリーダイヤル ☎0120-220285  
24時間レファレンス ☎0285(24)4300

を超えたのですから、このままだと辜先生のご指摘のようにもっと増えるでしょう。全体では台湾の貿易黒字が多いから、バランスは保っているものの経済規模からすると、日本にとつて台湾はだいたいアメリカの三分の一近い重要性を持つてゐるんです。

確かに課長クラスが辜振甫先生のようなハイランクな方なんかと会うのはおかしいですよ。日本は中華人民共和国を外交的には承認したわけですが、一方で日華関係のこういう現実があるわけですから、いろいろ問題を話し合つてはいけないということはないんですね。経済はもとより、さまざまな交流はやっていいはずなんです。第四回「アジア・オープン・フォーラム」京都会議の「アピール」にもありますように「国交がなくても交流はできる」ことを原則にすべきですね。外交承認という問題と、経済・文化交流とは別問題ですよ。ついこの間までは、国立大学の教官が台湾に学术交流のための公用旅行にも行かれないうことがありましたけれども、こんな馬鹿げたことが二十年前の一枚の通達で最近までまかり通つていたんです。

李登輝総統も私にもいろいろ言われましたし、われわれも努力してかなり改善されてきましたがまだまだひどいですね。それを何とかこれからの二十年のうちに埋めていくことが大切ですね。

つい最近も、ドイツの経済相が台湾を訪れていますね。アメリカは通商代表のヒルズ女史が近く台湾を訪れますね。ア

メリカがF16戦闘機を台湾に売ることを決めたのは、アメリカの認識が根本的などころで変化していることだと思います。F16問題はたんにゼネラル・エレクトリックの失業対策ではなくて、自由世界の一員としてどちらがパートナーを組むべき相手かということがようやく分かってきたんですね。クリントン政権もこの点は継承するでしょうし、対中政策は厳しくなると思います。

それなのに、肝心の日本が、全然違うほうを向いちゃつていてはいけません。

#### ■李登輝VS.宮澤喜一会談があつてもいい

辜 やはり経済が先に立つて、政治があとからノコノコついでいく状況なんでしょうが、やはり文化が途切れたことが非常に大きい損失だと思えます。その意味でも今度の「アジア・オープン・フォーラム」は非常にいいことだと思つてます。

中嶋 文化交流分科会での芳賀徹さん(国際日本文化研究センター教授)のレポートも台湾側の羅吉煊さん(彰化商業銀行董事長)の報告も大変素晴らしい。そして日本の知識人もここ数年ずいぶん変わってきました。一時はみんな大陸ばかり向いていたんですけれども。「アジア・オープン・フォーラム」には、今までは台湾とほとんど関係のない第一級の学者や財界人にも加わつていただいています。ひとたび台湾

に行き、皆さんとお会いし、あるいは李登輝總統とお話しして、台湾の現実を見て、認識が非常に変わってきているんです。

辜振甫先生が、技術移転のことをおっしゃったけれども、ホンダの例を聞いてみますと、ほとんど技術移転しちゃうて、むしろ台湾側が独自で技術開発して輸出しているんですね。「アコード」なんか「三陽汽車」という名前で大陸や東南アジアにどんどん輸出されていますからね。そういう面でも、台湾の技術水準は非常に高いと思います。

辜 トヨタは世界に合弁が二十九社ありますが、品質が一番いいのは台湾でつくったものなんです。トヨタの常務が私にそう言っておりました。

中嶋 本当によくここまで来ましたね。

郭 さまさまの困難に直面してきましたが、大きいのは三つありました。国連からの脱退、日本との国交断絶、そしてアメリカと断交したときですね。まあ、血と涙という大げさですが、一致団結、非常に努力した結果なのです。

辜 それはその通りだね。

郭 まずビザがむずかしいでしょう。パスポートが自由自在に使えないでしょう。それだけでもそれだけの困難を克服しなくちゃいけないかということになります。日本との交流からいいますと、日華懇談会というのがあります。貿易やこれだけ複雑な事務は、やはりどうしても正式の交渉や高いレベルでの交流が不可欠になります。

そうした中で、政治と経済を切り離して、物だけ売ってくだ

さい、技術だけくださいというわけにはいかないんですね。

中嶋 交渉の場がなくなったわけですね。

郭 交渉の場を持って、お互いに話し合うことが非常に大事だと思います。台湾の貿易は、世界第十四位です。日本からの入超は、今年百二十億ドルを見込んでいます。

中嶋 貿易総額は大陸全体より大きいんですからね。

郭 ときどき十二位に上がったりしますが、去年は十四位でした。私が解せないのは、どうして日本のほうで、そんなに気兼ねするんですかね、中共に。中共はほかの国にも必ず文句は言いますよ。どうしてあなたの国の工業大臣は台湾に行きましたかとね。

### くつろぎの旅を演出します。



駐車場100台

シングル¥7,400より ツイン¥13,000より

広島駅南口より 徒歩3分

㈱日本ホテル協会会員

## ホテルニューヒロデン

〒732 広島市南区大須賀町14-9

☎(082)263-3456(代)

東京営業所 ☎(03)3571-0546  
広島電鉄 大阪営業所 ☎(06)361-3691

辜 私の日本観ですけど、日本の方は非常に筋目を正すことを大事にする。国交がある、ない、となるとそこではっきり分けるんですね。だけど、私は、今後の国と国の関係は経済だと思っんです。どこの国と手を結ぶか、となると経済単位でつくり直すべきだと、提唱しています。そうするとわれわれは当然その連合に入らなくちゃいけないと思います。

中嶋 当然ですね。

辜 九一年、ソウルで開かれたAPEC（アジア・太平洋経済協力関係会議）について言うと、台湾はPBEC（太平洋経済委員会）のときから二十六年間非常に熱心に行ってきたんです。APECを中心にしてもっと経済関係が話をして、そしてAPECをレベルアップしていくべきなんですよ。

この間オーストラリアのエバンスに会ったときに、彼は、APECのサミットをやるんじゃないかと言いました。ところが、大陸側は反対なんです。そんなことを言わずに、エコノミーのヘッドとしてならば李登輝さんは宮澤総理に会っていいじゃないかと思っんです。もっとAPECなどを活用したらいいと思いますね。

中嶋 日本もAPECに閣僚を出してはいますが、まだそこまでは行っていません。だから、台湾のほうからすれば取りつく島がない感じなんです。

ところで辜振甫先生は海峡交流基金会の理事長として、これからの大陸との交流の責任者でいらっしやるわけですが、われわれが見ている、もはや時代は中国が台湾を統一するの

ではなくて、台湾が大陸を変えつつあると思うわけですね。その辺りを少し伺わせていただきたいと思っんです。

この七月に台湾地区、大陸地区の人民条例が公布されたということは、兩岸関係の将来にもすごく大きな意味を持ちますし、中華民国・台湾の今後の内政問題の上でも、一つの方向が示されたんじゃないか。

とにかく天安門事件以降、あるいはもっとというと、親族訪問が解禁されてから、二千万の人口のうちの延べ三百四十万が大陸を訪れているわけですね。これは大変な影響をもたらす。私もその現場を見たことがありますけれども、あり余る情報とお金と物を持っていくでしょう。そして中国は地縁血縁のネットワーク社会ですから、その影響はものすごくいんですね。いわば台湾が孤立無援の中から今日の繁栄をつくりあげた「台湾経験」がじわじわと大陸に普及するのではないか。世界的なグローバルな視点からみると……。

辜 今おっしゃったことは非常に重大なことだと思っます。李登輝総統は大変遠いところ、高いところから見られると、私は思います。私どもの社会は非常に短い間にすっかり変わりましたから、それに法令や制度の面が追いつかないわけです。それで今度は憲法が改正されたんです。憲法を改正するということは非常に重大な問題であるし、それから九二年十二月早々、初めてすべての立法委員、つまり国会議員が台湾で選挙される。これも歴史的なエポック・メイキングな事件なんです。

中嶋 大陸との交渉は一步一步という感じでしうか。

■「一国兩制」と言うけれど……

辜 私どものほうから北京へだいぶ人を送ったりして、いろいろ交渉はしていますが、事務的な問題で少々難航しております。向こう側はどうしても政治問題を絡めようとするわけですね。例の「一つの中国」という問題なんです。

向こうは「一つの中国」ということを文書に入れてくれと言います。向こうの人が「一つの中国」といえば自分の中国のことですね。こちらの言う「一つの中国」は、自由・民主の中国である。また、向こうは「一国兩制」と言うけれども、こちらにはこちらの立場がある。

今のところ、じゃ、「一つの中国」という問題について、口頭でお互いの立場を言おうじゃないかというところまで来

ております。そういうことをベースにして、少しずつ積み重ねていくしかないでしょう。そのために私と汪道涵さんの会谈を準備しております。

中嶋 改革派の長老として知られる汪道涵さんが大陸のほうの海峡兩岸関係協会の理事長ですね。

辜 あの人は元上海市長をした人です。彼の後任が江沢民、その後任が朱鎔基です。で、まずは予備会談をやるということになっております。政治問題は語らず、経済発展の面において語り合おうというのが、だいたい今のところの心構えで、あとはですから、事務所を置くとか置かないとか、あるいは突発事件を避けるためにホットラインが必要じゃないかというようなことから入っていくんじゃないか。それから今もあれだけ投資しておりますので、その人たちをいかにして保護するかといった問題ですね。

中嶋 投資保障協定が当然必要になってきますね。



正統なつくり、流麗な味わい。

特別純米酒 1.8ℓ詰  
3,500円(数量限定・化粧箱入)

秋田清酒の逸品

# 高清水

秋田酒類製造株式会社

秋田県川井町三ツ木新田 電話 0187-54-3111

# 子規とベースボール

神田順治 著

AS5判上製  
定価2,500円(税込)

大分の  
アメリカ人のほしめし  
アメリカ人は  
ベースボールは  
見れど飽かぬかも

明治の文豪正岡子規は、雅号を「野球」ともするほどの熱の入れようで、随筆、短歌、俳句を通して野球の管見・普及につとめた。ここにその足跡をたどりながら、野球との意外なかわりを紹介する。



好評発売中!

読者スポーツ総合出版  
ベースボールマガジン社

※宅配承ります(送料310円)☎03(3238)0181

幸 しかし、こちらに對する敵意をまだ示していませんからね。

中嶋 武力解放もあり得るということを書いてはいるわけですからね。

幸 そうなんです。それから、私どもを一つの政治的存在として認めない点ですね。これがすべての問題の引っ掛かりになっているわけです。

## ■大陸の共産体制はひっくり返る

中嶋 郭婉容先生は大陸に行かれた最初の閣僚(行政院財政部長)でしたね。例の天安門事件直前にアジア開銀の総会があった……。

郭 ええ、アジア開銀の理事として、北京へ行くか行かないかかなり討議しました。で、李総統が決心されて私が行きました。

それは、ある意味では、一つの転機で、その時に約百名の新聞記者がテレビともども初めて大陸訪問を許されました。私個人にとってもそれは意義深いことでした。

今の時点では大陸との貿易と投資は間接です。なぜ間接を強調するかといいますと、貿易や投資をするといろいろ交渉したり解決したりするルートがいるわけです。それが無いものから、例えば香港経由でも、日本経由でもいいいんです。間接的な会社を経由して、正式に法律的な交渉を必要とします。それを確保するために、間接を守っているわけです。

幸 財界の連中は、コストダウンするために直接にしてくれと言う。しかし、実際は、コストダウンにならないんです。法的なセキュリティはもちろんのこと、向こうから買える品物がないんです。だから、カラ船で帰ってくるんです。

中嶋 北京は台湾との経済交流も「和平演変」につながるかと警戒していますね。  
郭 まず経済的に変えるのが一つですね。

もう一つはやはり観念ですね。向こうの人は外へ出ますと、すぐ変わります。アメリカへ行きますと、帰りたくなくなりません。しかし、全部の人が外に出るわけにはいかないのですね、こちらから送り込んでいきますと、やはり影響されると思っています。台湾の貿易と投資に関係している人たちは台湾並みになるわけです。すると、今までは共産主義の下で、あまり仕事をしながらなかったのが、資本主義体制の中では非常によく働くそうです。仕事に相応する月給が貰えますから。

それから、今まで三百数十万人の人が大陸へ帰りました。以前はテレビやら重いものを担いでいったんですが、近頃は皆さん金の指輪を六十個とか百個とか持って帰るそうです。それを親戚やお友だちに分けるんですね。私、タクシーのドライバーから聞きましたが、その方は中国大陸から来た人で、七回も帰ったそうです。もうこの調子では破産すると(笑)。

中嶋 みんなお土産にとられる……。

郭 「あの人たちかわいそうですからね、一人ひとりにリングをあげますと、皆さん喜ばれてね」と話していましたが、七回帰ったあとは、その人たちに宣言したそうです。「私はもう退職したからお土産はこれで打ち切りです」と(笑)。そう宣言しないと、身がもたないというわけですね。

中嶋 最後に、鄧小平体制の将来というか、中華人民共和国の将来についてひと言ずつご意見を伺いたいと思います。

辜 いったん開放路線を歩み出すと、なかなかあと戻りできません。これは全く個人的な考えですが、大陸は産品経

済、プロダクトの経済から商品経済に移り、そして今市場経済に移ろうとしておりますね。これがある程度まで進みますと、やはり共産体制はひっくり返りますよ。

中嶋 そうですね。

辜 市場経済というのは私有制の上に移行させなければ、働かないんですね。ですから、結局、あるところまで追い詰められるんじゃないかという感じがいたします。

それから共産主義というのは彼らに言わせると、国をつくり、民をつくるということですが、ソ連を見ると、七十年の経験が失敗に終わった。そういうことがみんなにだんだん分かってくれば、体制そのものが変わりはしないか。

郭 この十年来の発展をみると、自由経済の占めるパーセンテージが徐々に大きくなってきています。共産主義より自由経済が優るといふことの証しだと思います。

発展していくところを見ると、中央の力の届かないところがより発展しているわけですね。ここでも自由経済の優位性をはっきりしたといえると思います。

これがさらに進みますと、社会主義の中の資本主義ということはある得ないと思います。政治的に共産主義で、経済だけが自由になるということはある得ない。すると、一方的に経済に引っ張られて、政治が変わらざるを得ないのではないかと思います。

中嶋 結局は「現代の三民主義」が大陸にも生きるということでしょうね。今日は本当にありがとうございます。